

建築家、走る

東京、パリ、北京の各事務所を往復し、ある時は世界一周チケットを片手に地球のいたる所で打ち合わせを重ねる生活。世界中から依頼が殺到する建築家隈研吾の仕事ぶりとは、建築に対する思いを語っていただきます。

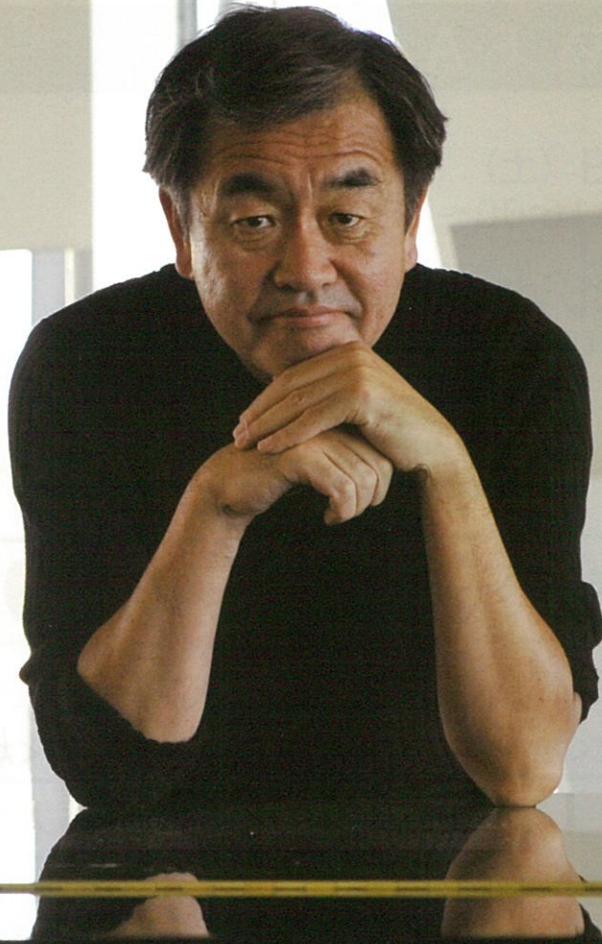


Photo (c) J.C. Carbonne

建築家 隈研吾 講演会

建築家 隈研吾 (くまけんご) プロフィール

1954年横浜生。1979年東京大学建築学科大学院修了。85-86年に米国・コロンビア大学客員研究員。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。2001年~2008年、慶應義塾大学教授。2009年に東京大学教授に就任、現在に至る。初期の主な作品には、亀老山展望台(1994)、水ノガラス(1995、全米建築家協会ベネディクタス賞)、1997年「森舞台/登米市伝統継承館」(日本建築学会賞受賞)、「馬頭広重美術館」(2000、村野賞)、グレート・バンブー・ウォール(北京、2002)など。進行中のプロジェクトでは、スコットランドのヴィクトリア・アンド・アルバート・ミュージアム・ダンディー、スイス・ローザンヌのEPFL(スイス連邦工科大学)のほか、フランスのサン・ドニ駅、アルペール・カーン・ミュージアム、イタリアのパドヴァ・コンベンション・センターなどがある。また、東京オリンピックに向けて建設される新国立競技場の設計にも携わっている。



(c): Daici Ano

主催：隈研吾「建築家、走る」実行委員会・沖縄県中小企業家同友会みらい21

後援：沖縄県・石垣市・沖縄県商工会議所連合会・沖縄県商工会連合会・沖縄県中小企業団体中央会・一般社団法人沖縄県経営者協会・沖縄経済同友会・沖縄県中小企業家同友会・公益財団法人沖縄県産業振興公社・一般社団法人沖縄県建築士事務所協会・公益社団法人沖縄県建築士会・公益社団法人日本建築家協会沖縄支部・国立大学法人琉球大学・沖縄県立芸術大学・専修学校インターナショナルデザインアカデミー・那覇ロータリークラブ・琉球放送株式会社・沖縄テレビ放送株式会社・琉球朝日放送株式会社・株式会社沖縄タイムス社・株式会社琉球新報社・株式会社ラジオ沖縄・株式会社エフエム沖縄・株式会社八重山毎日新聞・株式会社八重山日報社・有限会社石垣コミュニティーエフエム(順不同)

参加費無料

平成 29 年 7 / 1 (土)

《開場》15:30~ 《開演》16:00~17:15

パシフィックホテル沖縄
(万座の間・珊瑚の間) 沖縄県那覇市西3丁目6番1号
TEL.098-868-5162

定員 800名 ※事前に申し込みが必要です。定員になり次第締め切ります。

《第一部・基調講演》16:00~16:45

演 題「建築家、走る」 東京大学教授 隈研吾

《第二部・パネルディスカッション》16:45~17:15

テーマ「建築の未来と沖縄」 進化していく建築に沖縄の自然素材をいかに取り込んで行くのか、建築、行政、観光のそれぞれの視点から人を集めるためにできることをディスカッションしていただきます。

東京大学教授 隈 研吾
パネラー 石垣市長 中山 義隆
琉球大学教授 下地 芳郎

問合先

実行委員会事務局

TEL.098-878-7884 FAX.0120-878-929

建築家 隈研吾 講演会

参加申込 FAX 用紙

日時

平成 29 年 7 月 1 日 (土)
《開場》 15:30～ 《開演》 16:00～17:15

会場

パシフィックホテル沖縄 (万座の間・珊瑚の間)
沖縄県那覇市西3丁目6番1号 TEL.098-868-5162

参加費

無料

定員

800名 ※定員になり次第締め切ります。

FAX 送信先

0120-878-929

平成29年6月26日(月)までにご送信くださいますようお願い申し上げます。

▼事業所名・ご住所・ご連絡先、参加いただく方のお名前をご記入の上、FAX送信してください▼

事業所名			
ご住所		連絡先	
参加者名		参加者名	
参加者名		参加者名	
参加者名		参加者名	
参加者名		参加者名	

- ホテル駐車場や近隣駐車場は駐車台数に限りがありますので、できるだけ乗り合わせ又は公共交通機関をご利用の上、お越し頂きますようお願いいたします。
- 申し込み先着順となりますので、定員になり次第、受付を終了させていただきます。
- 申し込み用紙が足りない場合は、恐れ入りますが、コピーしてお使いください。
- お申し込み頂きました情報は、実行委員会事務局からのご連絡・情報提供のためにのみ利用いたします。

問合せ先

実行委員会事務局 TEL.098-878-7884

この用紙をFAXでお申し込み後、当日お持ちください。